

令和2年度 特定健康診査・特定保健指導の実施状況(法定報告値)

図1 特定健診受診率・保健指導実施率の推移

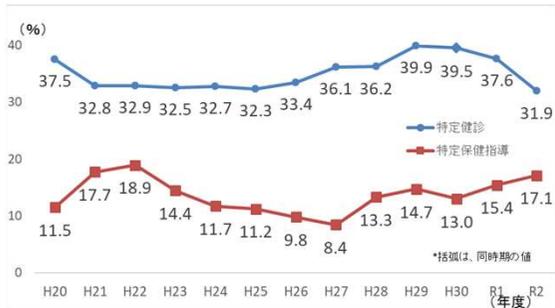


表1 H30～R5年度 目標と実績

| 項目 | 目標 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|------------|----|------------|------|------|------|------|------|
| | | 特定健診受診率(%) | 39.5 | 41.0 | 42.5 | 44.0 | 45.5 |
| 保健指導実施率(%) | 目標 | 16.5 | 18.0 | 19.5 | 21.0 | 22.5 | 24.0 |
| | 実績 | 13.0 | 15.4 | 17.1 | | | |

表3 R2年度 実施内容と実施状況

| 項目 | 実施内容 | | R2年度の状況 |
|------|--|---|----------------------------|
| | 健診 | メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)のリスクに着目した、生活習慣病を予防するための健診。40～74歳が対象。 | |
| 保健指導 | 特定健診の結果、生活習慣改善の必要があると考えた方に実施する3～6か月間の保健指導。 | | 対象者数: 4,495人 終了者数: 767人 |
| | 動機付支援 | 初回面接+3～6か月後評価 | 対象者数: 3,610人 終了者数: 687人 |
| | 積極的支援 | 初回面接+毎月の継続支援+3～6か月後評価 | 対象者数: 888人 終了者数: 80人 |

表2 R2年度 保険者間での順位

| 項目 | 政令市 20 | | 県内市町村 54 | |
|---------|--------|-------|----------|-------|
| | 順位 | 平均 | 順位 | 平均 |
| 特定健診受診率 | 6 (↓) | 26.9% | 24 (↑) | 33.0% |
| 保健指導実施率 | 7 (↑) | 13.6% | 36 (↑) | 21.5% |

データヘルス計画における個別保健事業 指標ごとの実績・評価

| 目標 | 事業(対策) | R2年度事業概要 | 評価指標 | H30 | R1 | R2 | | | |
|-----------------|--|---|----------------------|------------|------|------|-------------------------|--------|--|
| | | | | 実績 | 実績 | 実績 | 目標 | 目標達成状況 | 評価 |
| 1 特定健康診査の受診率の向上 | ①受診勧奨 ②継続受診の促進 ③健診受診者等の健診データ取り込み | 国保連合会の受診率向上支援事業を活用。 1 はがき勧奨(10～11月) 90,754件 健診受診歴、過去の問診結果、年代、レセプトの有無を考慮して分類し、各分類に合わせた勧奨通知を送付。 2 電話勧奨(11月) 562件(状況確認できた件数 426件) 40～59歳の不定期受診者へ電話勧奨。 3 39歳へはがき勧奨(R3.3月) 1,763件 ・健診結果のお知らせを通知(11月) 17,795件 ・令和元年度に受診歴がある方に経年結果及び健康アドバイスを記載した通知を送付し、継続受診の必要性を伝える。 1 事業周知:R2年度より受診券シールや受診勧奨のはがきに記載した。ドラッグストア協会やイオンヘリーフレット配布やポスター掲示を依頼した。 2 申請書の送付(R3.3月) 1,588件 他健診受診を把握した方や未受診の方へ申請書を送付。 3 関係機関と連携し、案内を配布(千葉市内の保育所勤務者・介護保険施設勤務者) | 40～64歳の受診率(%) | 26.4 | 24.7 | 20.5 | 28.1 | × | ・はがき及び電話による勧奨を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響の影響により受診控え等がみられ受診率は減少した。 ⇒R3年度:継続実施。 ①28～11月 はがき勧奨及び電話勧奨実施。 ③3月 はがき送付予定 ・検査値をグラフ化や健康アドバイスを掲載し、内容の充実を図った。全体の受診率の減少に伴い、継続受診率も減少した。 ⇒R3年度:継続実施。結果通知を8月送付 ・関係機関と連携し事業周知行ったが、申請につながらなかった。 ⇒R3年度:継続実施。 ・引き続き、受診券や保険証送付時の通知物に事業案内を掲載し、事業周知を図っている |
| | | | 65～74歳の受診率(%) | 48.0 | 45.9 | 39.2 | 50.3 | × | |
| | | | 長期未受診者*1割合(%) | 43.5 | 43.8 | 44.6 | 42.0 | × | |
| 2 特定保健指導の実施率の向上 | ①利用勧奨 ②民間委託 ③研修会の実施 | ・民間事業者に委託(SOMPO) 動機付け支援 利用勧奨 814人 初回面接 256人(31.4%) 積極的支援 利用勧奨 269人 初回面接 79人(29.4%) ・R2年度委託事業者:SOMPO ・初回面接をICT利用できるよう環境を整備した(R2.12月から開始)。 ・ICT利用者 25人 ・特定保健指導の従事者に対して、研修会を実施する予定であったが、新型コロナウイルスのため中止し、資料を送付。 | 利用率(%) ^{*3} | 動機付支援 17.7 | 20.7 | 20.0 | 24.9 | × | ・保健指導の利用率・終了率は、目標値に達していないが、前年度同期より増加している。 ⇒R3年度:継続実施。 ・医療機関実施予定者へ千葉市より利用勧奨を実施 ・動画配信で研修会を実施。(8月) |
| | | | 終了率(%) ^{*4} | 動機付支援 81.9 | 82.0 | 95.2 | 現状維持 ベースライン 87.6% | ○ | |
| | | | 積極的支援 60.8 | 66.4 | 66.7 | 67.0 | △ | | |
| 3 重症化予防 | ①受療勧奨と保健指導 ②糖尿病性腎症重症化予防 | ・健診の結果、治療が必要な方へ通知・電話・訪問により受療勧奨を実施 6か月後に受療状況をレセプトで確認。 ・血糖値が高いリスクの方(HbA1c8.0%以上)は、指導を強化(初回指導から3か月後に電話により受療状況を確認) 人工透析導入防止のために、千葉市医師会と連携し、糖尿病性腎症の発症・重症化のリスクの高い方を対象に6か月間保健指導を行った。 保健指導実施者30人 修了者26人 | 指導後受療率(%) | 全体 29.7 | 28.1 | 32.9 | 27.3 | ○ | 指導後の受療率は、目標を達成した。 ⇒R3年度:継続実施。 保健指導実施者は、人工透析には至らなかった。 ⇒R3年度:新規24人実施。 前年度(R2年度)指導終了者:16人継続指導。 |
| | | | 事業参加者の新規透析患者数(人) | - | - | 62.5 | 30.0 | ○ | |

【達成状況】 ○:目標達成 △:目標未達だが、前年度より改善または同値 ×:目標未達、前年度より悪化

* 特定健診受診率=受診者数/対象者数 *1 長期未受診者割合=5年間健診を利用していない者の割合 *2 継続受診率=2年間連続して健診を受けた人の割合

* 特定保健指導実施率=終了者/対象者 *3 利用率=初回面接を受けた者/対象者 *4 終了率=終了者/初回面接を受けた者

【総括】○達成…3項目 △目標未達だが、前年度より改善または同値…2項目 ×未達成…6項目

・個別事業計画の11の指標項目のうち、動機付け支援の利用率や生活習慣病の重症化予防(受療勧奨・糖尿病性腎症重症化予防)の3項目で目標を達成することができた。

一方、目標値に未達であった8項目はのうち、特定健診の受診率については、新型コロナウイルス感染症の影響があり伸び悩んだ。